

継続事業評価シート

評価確定日 平成31年4月3日

平成30年度(2年目)

Table with 2 rows and 10 columns containing project details like '事業コード', '事業名', '戦略コード', '戦略名', etc.

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

小規模事業者の経営環境が厳しさを増す状況において、商工会は、これまで以上に事業者が必要とされる組織となることが求められている。そのためには、職員一人ひとりが知識やスキル、さらにはプロ集団としての意識を高めていく必要がある。

2. 事業のねらい

テレワーク等の多様な働き方を検討するとともに、男女を問わず、出産や育児、介護等があっても「安心して働くことができる環境」を整備することで、多様な働き方を推進する。また、職場環境を改善することで、女性職員が指導職や管理職への登用を促進し、組織活性化につなげる。

3. これまでの評価結果

Table with 7 columns: 過年度, H29, B, H30, H31, H32, H33

各経営指導員にタブレットPCを導入し、働く場所に囚われない多様な働き方に繋がった。また、平成29年度の女性の管理職等への登用は、副事務局長に1名、指導職に1名実施した。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

平成30年度は、秋田県では初の事務局長に女性(1名)、指導職に4名登用する等、女性の管理職等への登用の拡充を図ったが、次年度以降も女性の登用を推進する。

【取組評価】

Table with 7 columns: 取組コード, 取組, 実績, 必要性, 有効性, 効率性, 総合評価. Contains rows for '職場環境の整備', '管理職への女性登用率', and '人事関連委員会等の見直し'.

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

Table with 17 columns for detailed performance metrics, including '取組コード', '指標名', '年度', '目標', '実績', '達成率', '達成度'.

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 取組評価の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) a

〈評価の理由〉

女性を積極的に管理職等に登用することで、女性の持つ能力がこれまで以上に発揮され、組織全体の活性化及び組織強化につながった。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 取組評価の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) a

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

女性の多様な働き方に対応することで、女性の活躍の場が広がり、結果として管理職等への登用率の向上につながっている。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況 取組評価の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) a

〈コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

公募型派遣研修等により、管理職等に対する知識・スキルの向上を図っている。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(見直しが必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 A

指導職のみならず、事務局長に女性を登用する等、女性の活躍の場が拡大している。

3. 課題

テレワークの本格導入に向けて、規程の整備等が必要となる。また、子育て中の女性職員が、遠方(東京・仙台等)の研修に参加が難しいという実態があることから、派遣研修に代わる新たな仕組みが必要となる。

4. 今後の対応方針(改善点)

引き続き、テレワークの本格導入に向けた規程の整備等の研究を行う。また、継続的に女性の登用を推進するとともに、女性が上位職にチャレンジしやすい環境を整備する。